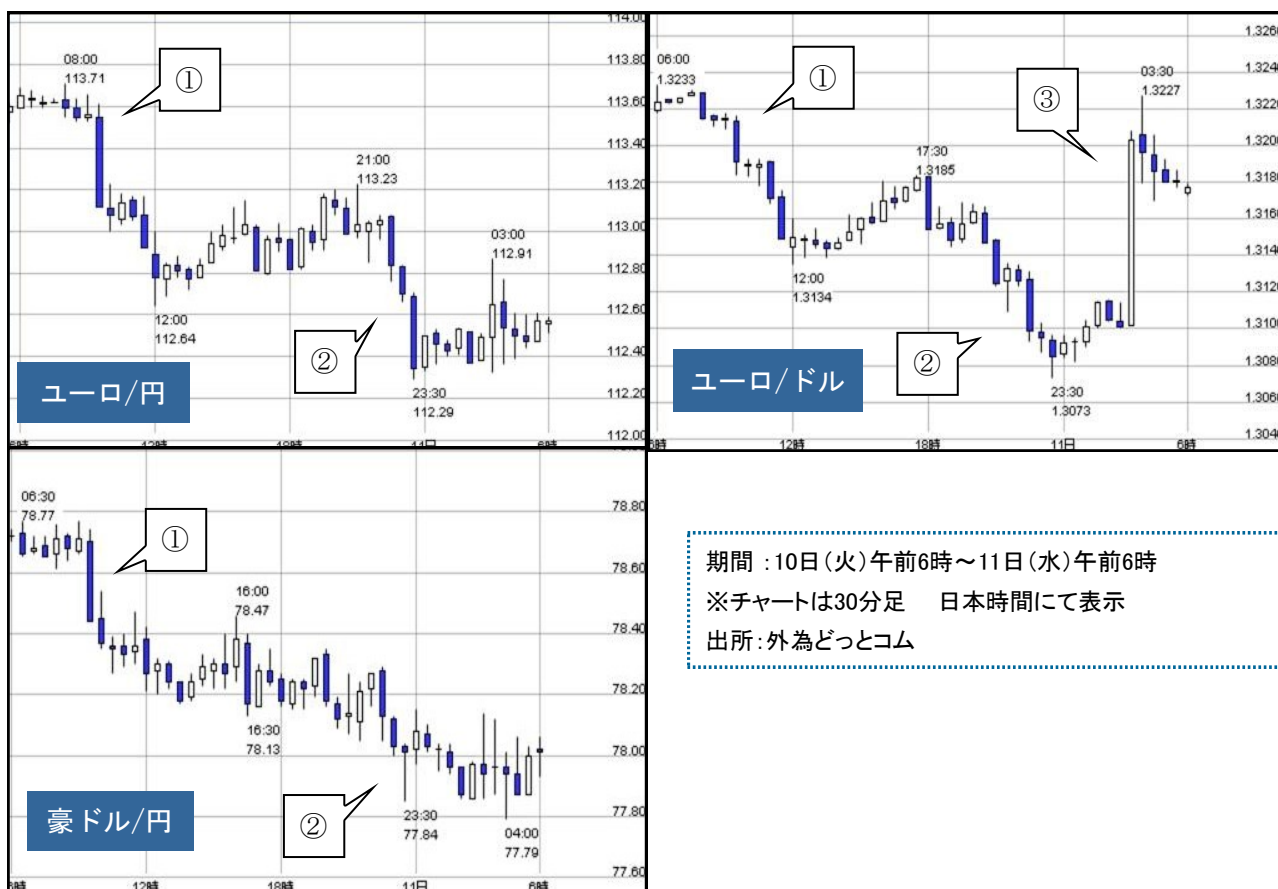


8月11日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

中国の経済指標発表ラッシュに注目

10日(火)の主な推移



期間：10日(火)午前6時～11日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① ユーロ/ドルが1.32ドルを割るとストップロスを巻き込む動きとなり、12時過ぎには1.3134ドルまで下落した。この動きと合わせてユーロ/円も朝方に付けた高値113.71円から、同じく12時過ぎには112.64円まで下落した。また豪ドル/円は7月NAB企業景況感が5と前月(8)より悪化したことも加わり、軟調な展開となった。
- ② 米連邦公開市場委員会(FOMC)を前にしたポジション調整のドル買い戻しの動きや、NYダウ平均が取引開始直後に130ドル以上下落したことからのリスク回避の動きにより、ユーロ/ドルは1.3073ドル、ユーロ/円は112.29円、豪ドル/円も77.84円まで、それぞれ下落した。
- ③ FOMCでは政策金利を0.00%～0.25%に据え置きとなった。またその後の声明では「金利は長期間に渡り異例の低い水準を維持」との従来の緩和スタンスが維持され、「機関債や住宅ローン担保証券(MBS)からの償還資金を長め期間の財務省証券に再投資する事で、証券保有を現在の水準に維持」など、金融緩和政策が継続されることが示されると、市場ではドル売りの動きへとつながり、ユーロ/ドルは1.3227ドルまで急進した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3050-1.3230ドル
 ユーロ/円 : 111.40-113.30円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.10-78.30円

本日のユーロ圏では主だった経済指標の発表は予定されていないものの、アジア時間では中国で多数の経済指標の発表が予定されている。もしこの結果を受けて豪ドル/円が大きく動く場面があれば、ユーロ/円はその動きに連れる展開が予想される。

また欧州時間には英中銀(BOE)インフレレポートや英7月失業率の発表が予定されている。仮にBOEインフレレポートによりポンドが買われた場合、ユーロ/ポンドにてポンド買い・ユーロ売りとなり、ユーロ/ドルやユーロ/円にユーロ下落の圧力がかかることが予想される一方、ポンドが売られる場合にはユーロ上昇のサポートとなることも考えられる。(川畑)

本日のアジア時間では中国で多数の経済指標の発表が予定されており、その結果を受けた中国株式市場の動向に左右される展開が予想される。先月は消費者物価指数が前回を下回る結果が出て、インフレの鎮静化を見て中国の金融引き締め懸念が後退し、豪ドルが買われた。このため今回も前回に続き3%を大きく上回らなければ、豪ドルにとっては買い材料となる可能性がある。しかし市場予想を上回り、中国での金融引き締めが懸念されると、豪ドル/円の下落要因となる可能性がある。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/11(水)	11:00	○	(中) 7月消費者物価指数 [前年比]	+2.9%	+3.3%
	11:00	○	(中) 7月小売売上高 [前年比]	+18.3%	+18.5%
	11:00	○	(中) 7月鉱工業生産 [前年比]	+13.7%	+13.4%
	17:30		(英) 7月失業率	4.5%	4.5%
	18:30		(英) BOE 四半期インフレレポート	—	—
	23:00		(米) 6月貿易収支	-423億USD	-421億USD
	26:00		(米) 10年債入札(240億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。